

年の暮、皆様方も益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、今年一年間、「かしま市民立楽修大学」にご支援頂き、誠に有難うございます。

11月19日（土）にエイブルホールで、「森公美子のおしゃべりコンサート」を開催しましたが、これは、宝くじ文化公演助成事業として、千代田町文化会館（ハンギーホール）と連携し、鹿島公演の翌日に続けて開催されました。

エイブルホールでは、市内外からの多くの方にご来場を頂き、歌ありトークありの楽しく魅力に溢れた公演になりましたことに心から感謝申し上げます。

今後とも、「かしま市民立楽修大学」では、このように、県内の同規模ホールと連携した事業申請をし、連続公演することで旅費等の諸経費を抑え、お手頃なチケット料金で販売してまいります。来年度のラインナップも出揃いましたので、公演内容について「エイブルの木」でお知らせしています。今後とも、鹿島発の文化事業にご期待頂きますようによろしくお願いいたします。

なお、楽修大学生には、どなたでも、1年間1,000円で、年齢に関係なく何時でも入学でき、年間8回程度（基本2,000円）の公演チケットを毎回500円引の1,500円で販売いたします。また、学生のみ先行販売する事業もあります。さらに年間約60種類の120以上の講座の中から、一回500円で受講できます。受けない講座がない時は、新たな講座の開講を希望することもできますので、是非、新年に向けた新たな取組みとして、「かしま市民立楽修大学」にご入学頂き、これらの特典をご利用ください。今後とも「エイブル」を中心に文教の地鹿島の発展に微力ながら頑張っております。

先日、鹿島市民図書館に校外研修に来てくれた高校生が、菜の花の苗を手植えしてくれました。春には、窓辺に「菜の花」と「ツタンカーメン豆」の花が咲き誇るのを楽しみにしております。今後は肥培管理に努め、「ツタンカーメン豆」は4月頃にカウンターで配布します。

また、図書館では、5年毎に更新する新システムを導入し、携帯電話や家庭用パソコンから、本の予約ができるようにし、同時に「図書館のホームページ」も更新しました。もう既に、新しいホームページを見られた方からは、他館のものに比べ、大変見やすく、使い勝手も良いとの高い評価を頂きました。これらの新システムの使い方もホームページから検索できますので、是非、アクセスして下さい。

さらに、新刊本も毎月充実させており、蔵書数も目標の17万冊を超えており、遠隔地等でご利用が不便な方々に対し、如何にして本やCDやDVD等をお届けするか、現在、関係機関との協議を進めております。

これらの取組みに皆様方のご意見をお聞かせ下さい。また、図書館の職員一同、皆様の読書環境の整備と全職員が心を籠めた応接を心掛けておりますし、図書カードをお持ちでない方は、住所を確認できる資料をお持ち頂くと、図書館カウンターで即時発行いたしますので、お申し出ください。

現在、エイブル2階「床の間コーナー」では、1月末日までの2ヶ月間、鹿島小学校のご協力で「鹿島小学校校務日誌展」を開催しています。この校務日誌は、市の重要文化財の指定から10年目を迎え、明治17年から昭和63年までの104年間の歴史資料が学校改築などの際にも廃棄されずに大切に保存されており、鹿島市の貴重な財産となっております。

この歴史資料は、現在では、当たり前となっている学校での教育や試験制度が、どのような目的で導入され、その当時、どのように影響をもたらしたか。さらに、武家社会の士農工商というあの厳しい身分制度から、明治維新により一気に全ての国民の身分が平等になり、家柄や財力に左右されず、さらに、子供や女性を家事労働から解放し、就学させるための運動・その広がりや苦勞された当時の様子が克明に記録され、これらの学校設立当初の状況を克明に記した当時の文書とともに、尋常小学校の教科書などを展示することで、「近代化教育と地域社会の関わり」さらに「戦時中の平和への思い」など、その時代の流れを感じて頂く展示内容となっております。

前回の「谷口藍田展」に続き、今では、忘れられている鹿島の歴史を掘り起こすことで、郷土への愛着とふるさとの素晴らしさを感じて頂こうと、エイブル二階の「床の間コーナー」を最大限に活用し、いつの日か、市立美術館の建設を夢見ながら、小さなスペースで、多様な作品展示を続けてまいります。

どうぞご声援をよろしく願いいたします。

皆様も、仕事帰りや休日に、「生涯学習センター・エイブル」や「市民図書館」「市民会館」を趣味づくりに利用されて「仕事と余暇のバランス」を保った有意義な時間を過ごして頂きたいと思っております。

今後とも「かしま市民立楽修大学」へのご支援、ご協力をよろしく願いいたします。